

未来への投資

～ 首長の決断がICT教育推進の鍵 ～

岐阜市長 細江 茂光

1 ぶれない信念「教育立市ぎふ」

将来の予測が困難な時代

「子供たちの65%は将来、今は存在していない職業に就く」
キャシー・デビッドソン（ニューヨーク市立大学大学院センター教授）

「基軸なき時代」の不安

ナショナリズム、人口減少など
社会経済情勢がめまぐるしく変化

AI技術の加速度的進化

自動運転、スマートフォンの音声対話など、
既にAI、ICT技術は身近な存在

岐阜市では、

▶ いかなる状況下でも、将来を見据え、

「ぶれない信念」 に基づき **各政策** に注力

その政策
の一つ

H18 「教育立市」 標榜（**ICT**、英語、理数、キャリア教育など）

▶ とりわけ、

ICTや**AI**を理解し、**使いこなす力**を身に付ける**ICT教育**を推進



さらには、

▶ これまで教育分野で取り組まれてこなかった

「エビデンスに基づく教育」 を実施し、**政策の「見える化」** を図る

2 これまでのICT教育の取組み

- H21 50型デジタルテレビ、
実物投影機、ノートPC 導入**
H25 電子黒板、デジタル教科書 導入
※**全市立小中など71校、2,012台**



- H26 タブレットPC実証導入（～H27）**
H28 タブレットPC本格導入
※**全市立小中・特支学校**
計70校、4,100台



教育用PCは3.4人に1台に！

中核市最速で国目標（3.6人に1台）達成（H28年度）



3 タブレットPCの導入

H26・27
実証研究

▶ 小・中各1校（各40台配付）、2年計画で研究



ペアで1台（1学級20台）



2学級でペア活動可能
個別学習にも！



グループで1台（1学級8台）



5学級でグループ活動可能
協働学習にも！

全市立小中・特支学校

4,100台 導入

▶ 小学校（47校、児童20,549人） 各校**40台**（大規模校 60台） 計2,060台
中学校（22校、生徒10,776人） 各校**80台**（大規模校100台） 計1,840台
特別支援学校（小中高等部、244人） **160台**

合計4,100台（予備40台、合計31,325人）

▶ 仕様：FUJITSU製 **Windows10** Office365
※電子黒板とも連動（SKYMENU Class搭載）

▶ 特徴：通信環境として、可搬型アクセスポイント導入！

可搬型：1校150万円（※無線LANにした場合：1校1,500万円）

**費用が
1/10！**

H28
本格導入

4 ICT教育を充実させるための教員研修

▶ **全学校・全教員**を対象に民間と連携したタブレットPCの**導入研修** (H28)



5 授業での様々な使用場面

知識の習得



ドリル学習



まとめの活動

技能の習得



(技術・家庭科)



(体育)

調べ学習、話し合い活動、表現活動



気づきを意見交換



みんなの意見を書き込む



小学校英語での表現活動



電子黒板と連動・情報共有

タブレットPCがアクティブ・ラーニングを促進

▶ タブレットPC ⇒ 岐阜市独自のアクティブな場の活動を促進

「アゴラ」

アクティブ・ラーニングの場「アゴラ」
全22中学校 (H28整備)

- ・タブレットPCの活用により、
考え、議論し、発信する自発的な
活動



コミュニティ・スクール

岐阜市型コミュニティ・スクール
全小中など70校 (H20～27導入)

- ・タブレットPCの活用により、
学校内や地域の現場における地域
住民との協働によるふるさと学習



▶ 岐阜特別支援学校、岐阜市民病院内学級：**1人1台のタブレットPC**活用

➡ **個の状態・病状に応じ、読み書きや意思疎通をサポート！**

具体的には、

- ・ **障がいの程度**や一人ひとりの**学習進度**にあった**電子教材の選択**が可能。
- ・ **鉛筆が使えない子ども**も、**音声**や**画像選択**により**意思表示**が可能。
- ・ **教室**や**病室**など、**場所に捉われず指導、学習**が可能。

岐阜特別支援学校

個のニーズに応じ、個の能力を伸ばす



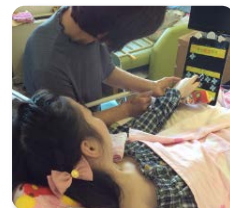
(※H28～タブレットPC導入)

病院内学級

岐阜市民病院内に
院内学級『ひばり学級』を開設 (S39～)

- ・ 病院の所在地区にある**小中学校の分校**
- ・ **小中学校の教員 各1名が常駐**
- ・ **週5日、学習指導を実施**
- ・ **7名** (小:5名、中:2名) 在籍

(H28.12現在)



(※H26～タブレットPC導入)

▶ ICT環境整備 ⇒ 学びの意欲向上、理解の促進

子どもの意識

- ・タブレットPCを使った授業は楽しい 94.3%
- ・タブレットPCを使った授業はわかりやすい . . 89.8%
- ・電子黒板を使った授業はわかりやすい 98.0%

より確かな「エビデンス」を教育分野に求めていく
施策成果の「見える化」へ

ベネッセ教育総合研究所との共同研究 (H28)

▶ 専用タブレットを用いた実証研究 (250名の中学2年生)

- ・家庭学習のデータ、稼働率、個の状況 (意識差・学力差) の分析など



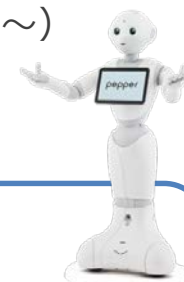
教員の働きかけの効果等も数値化し、研究成果を示していく

9 ICT教育の次なる発展に向けたチャレンジ

▶ 次期学習指導要領（H32）に先駆け、**プログラミング教育**を実施（H29～）

■ 「プログラミング教育推進事業」（小学校・中学校）

- ・ 人型ロボットPepperを活用 ⇒ プログラミング授業を実施
⇒ （仮）Pepperコンテスト in 岐阜市（H29.12）



市内小中学校**39校**
計**273台**
“**全国最多**”導入

■ 土曜日の才能開花教育「ギフティッド」（中学生）

- ・ ギフティッド：才能開花のきっかけ ⇒ 各分野の専門家が高度な講座
⇒ 高度な**プログラミング教育**の講座を追加！

国**教育再生実行会議**で
本市の取組みを**紹介**

更なる充実

ICT教育を支える専門性の高い人材（ICT支援員など）による
サポート体制の重要性を**国**や**民間**が**理解**することも必要